



TITLE:

桂キャンパスにおけるPRTR制度への対応

AUTHOR(S):

日名田, 良一; 八田, 博司

CITATION:

日名田, 良一 ...[et al]. 桂キャンパスにおけるPRTR制度への対応. 京都大学工学研究科技術部報告集 2012, 9: 131-131

ISSUE DATE:

2012-05

URL:

<https://doi.org/10.14989/193634>

RIGHT:

桂キャンパスにおけるPRTR制度への対応

○日名田 良一、八田 博司
京都大学大学院工学研究科 技術部 環境・安全・衛生技術室

1. 序論

背景

- 京都大学はPRTR制度の届出対象事業者
 - 各キャンパス毎の排出量、移動量を集計・届出
 - 桂キャンパスにおいては工学研究科附属環境安全衛生センターが中心となり対応している
- 《現状に即した届出のためのポイントを紹介》

PRTR制度

事業者が有害性のある**化学物質**を1年間にどれくらい**環境中に排出**したか、あるいは廃棄物等にふくまれて**事業所の外に運び出した**かを**把握・届出**し、結果を集計・公表する制度

2. 届出対象物質とデータの種類

桂キャンパスにおける対象物質(2009年度)

クロロホルム
ジクロロメタン
トルエン

届出データ

排出量、移動量の届出の分類	桂キャンパスにおける算出方法	データ算出時の分類
(排出量)		
大気への排出量	物質収支	大気への排出量
公共用水域への排出量	0	水域への排出量
事業所内における土壌への排出量	0	土壌への排出量
事業所内における埋立処分量	0	
(移動量)		
下水道への移動量	排出係数	廃棄物に含まれる量
事業所外への移動量	実測	

大気への排出量

物質収支式を用いて算出する

大気への排出量 (kg)
= 年間取扱量 (kg) - 廃棄物に含まれる量 (kg)
- 水域への排出量 (kg) - 土壌への排出量 (kg)

- 年間取扱量：年間購入量、化学物質管理システム (KUCRS) の登録量
- 水域への排出量：年間取扱量 × 排出係数 (1%未満)
- 土壌への排出量：0

事業場外への移動量 (= 廃棄物に含まれる量)

対象物質を含む廃棄物…実験廃液(有機廃液)
有機廃液中の対象物質含有量を把握すればよい

把握の方法

～2006.3 研究室からの申告

→ 正確な把握は困難

2006.4～ **サンプリング・分析**による定量

有機廃液中の対象物質含有量 (kg)
= 定量値 (kg/L) × 廃液量 (L)

まとめ

要点

桂キャンパスにおけるPRTR制度への対応

↓
廃棄物(有機廃液)中の届出対象物質含有量の正確な把握が重要…**データの信頼性**

↓
有機廃液を**サンプリング**し**分析**

今後の課題

- サンプリングの精度
- 容器あたりの廃液量の誤差
- 新規届出対象物質への対応

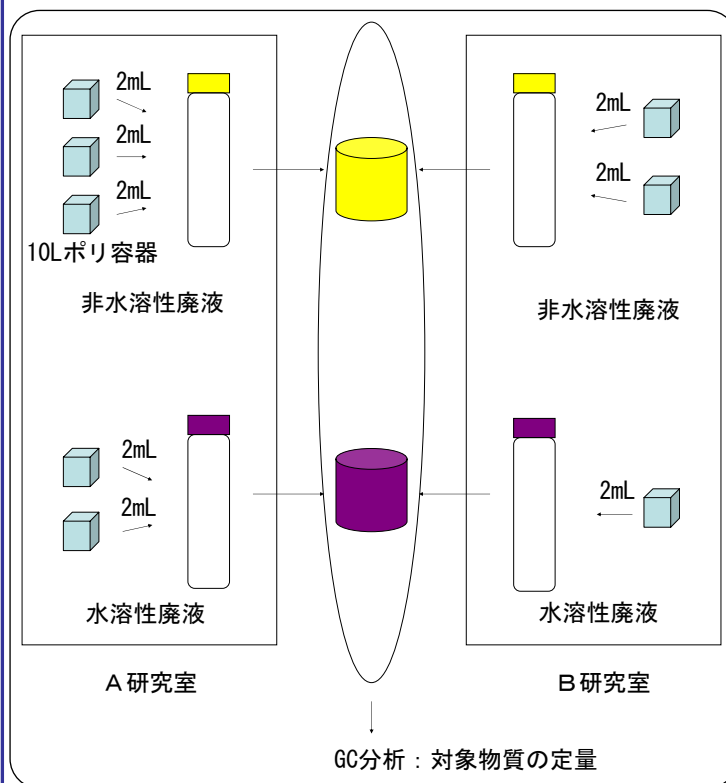
3. 有機廃液中の含有量把握

サンプリング

容器(10L)毎に2mLを採取

分析

ガスクロマトグラフィー



4. データ例

項目	大気への排出量 (kg)	年間取扱量 (kg)	下水道への移動量 (kg)	事業場外への移動量 (kg)	大気への排出率 (%)
物質名					
ジクロロメタン	1988	5900	12	3700	33.7